

平成 23 年度 事業計画書

（平成 23 年 11 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

平成 23 年 11 月 1 日～24 年 3 月 31 日は、公益財団法人の認定を得ての初年度にあたります。地域における公益財団法人河内長野市文化振興財団に期待される役割を改めて確認するとともに、これまでに創造し蓄積してきたプロデュース能力、舞台運営・施設運営能力を更に磨き、市民との協働の可能性を常に念頭に置きながら、創造性豊かで活力と潤いに満ちた住みよい地域社会の形成に貢献することを目指して、下記のとおり多彩な事業を実施します。

（印）旧財団法人で実施した事業

旧財団法人で実施した事業計画書を引き継ぐ形であり、また、事業によっては、継続性の有する物もあります。従いまして、平成 23 年 4 月 1 日～10 月 31 日までの旧財団法人で実施の事業についても記載します。

1. 文化振興事業

(1)河内長野発の優れた舞台芸術作品を創造し発信する事業【創造発信型事業】

総合芸術であるオペラ。公立の文化会館が自主制作しているのは、府内唯一です。また、地域の小学生から大学生まで約 80 人の子供たちが出演するファミリーミュージカル。両事業とも、河内長野市独自の舞台芸術作品であり、ラプリーホールのブランドとして、全国へ向けて発信する事業に位置づけて実施します。

4 月 23 日 河内長野マイタウンオペラ・小ホールシリーズ vol.7

「こうもり・リバイバル」

6 月 18 日・19 日 . . . 第 13 回河内長野マイタウンオペラ「椿姫」

8 月 6 日・7 日 小ホール・ミュージカル「オズの魔法使い」

12 月 14 日 オペラで楽しむクリスマス

「ヘンゼルとグレーテル」抜粋版&ラプリー特選名！迷？曲集

(2)市民との協働により文化を創造する事業【市民参画型事業】

鑑賞するだけでなく、実際に舞台に立つこと、または企画運営に参加する事で、市民が文化に直接触れる機会を創出します。さらに、鑑賞するだけでは決して体験できない面白さ、楽しさを体感して貰い、練習や制作を通じて、事業をゼロから創っていく過程を体験する事で、文化をより身近に感じていただくことを目的として事業を実施します。

9月18日・・・「かわちながの世界民族音楽祭2011」
10月22日・23日・・・「ラブリーハロウィーン in かわちながの」
10月開始～開催中・・・ウインターイルミネーション・ワークショップ
平成24年2月26日・・・ラブリーホール合唱団定期演奏会
ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」

(3)年間を通じて行う長期ワークショップ型事業【教室運営型事業】

市民が年間を通じて主体的に芸術文化に触れられる場を提供し、継続して参加することでスキルアップを図る長期のワークショップ型事業を実施します。また、この事業により、ラブリーホールを単なる発表の場ではなく、血の通った学びの場とすることを目指します。

ラブリーホール・ミュージカルスクール
サキタハチメのこぎり音楽教室
7月27日・・・サキタハチメのこぎり音楽教室 夏休み音楽会
ラブリーホール・ゴスペルクワイア「MAKE US ONE」

(4)地域の芸術家を発掘し育成する事業【芸術家育成型事業】

ホールは、アーティストが存在して初めて劇場として機能します。そのためにもアーティストの育成は、財団の使命であると考え、地域で活動するアーティストの発掘と支援を継続的に実施します。

6月25日・・・「ラブリーホール新人演奏会」
<ロビーコンサート・シリーズ>
7月10日・・・Enjoy～サマー・アフタヌーン～
8月20日・・・森内美佳子「歌の扉」
9月23日・・・奈良絵里加 and 中谷友香 with 畑奨
「クラシックで暮らしをchicに」
9月24日・・・うたとフルートとピアノで贈る愛の調べ
10月7日・・・Armonica trio with 仁科人美「Autumn」
(注)アルモニカ・・・ポルトガル語で「ハーモニー」の意味
11月25日・・・Quadrifoglio～四つ葉のコンサート～
(注)クアドリフォーリオ・・・イタリア語で「四つ葉のクローバー」の意味
12月1日・・・Duo-scherzo ごちそうピアノデュオ
「おいしいコンサートはいかが？」
(注)スケルツォ・・・イタリア語で「冗談」の意味

平成 24 年 3 月 3 日・・・藤村江季奈&松澤政也(ソプラノ・バリトン)

平成 24 年 3 月 18 日・・・西尾薫(ソプラノ)

平成 24 年 3 月 24 日・・・塩出律&吉田健悟(ソプラノ・バリトン)

平成 24 年 3 月 26 日・・・柴田幸治郎&浦あゆみ「フルートと歌曲」

(5)多種多様な文化に触れる機会を提供する事業【芸術文化普及型事業】

ホールに足を運んでいただき、芸術文化の根源的な楽しさや多様性を体感していただくことを目的とする事業です。カジュアルなクラシックからポップス、演歌まで幅広いジャンルの事業展開を行います。また、単発で行うだけでなくシリーズ化してリピーターを確保する事にも力を入れています。

4月29日・・・・・・熊本マリ「マリさんのおしゃべりピアノコンサート」

7月3日・・・・・・「仮面ライダースーパーライブ2011」

7月9日・・・・・・戦場カメラマン渡部陽一「世界からのメッセージ」

8月20日・・・・・・「南河内ジャズフェスティバル2011」

9月3日・・・・・・「坂本冬美25周年記念コンサート」

10月2日・・・・・・「ET-KING コンサート」

平成 24 年 2 月 4 日・・・「倉木麻衣コンサート」

平成 24 年 3 月 4 日・・・「桂文珍独演会」

平成 24 年 3 月 15 日・・・大阪交響楽団無料公開リハーサル

年間 4 本・・・・・・<カフェコンチェルト・シリーズ>

4月17日・・・・・・「牧村邦彦のマイタウンオペラ椿姫へのプロローグ」

7月17日・・・・・・安岡やよい&井原茂樹「ユーフォニアムの響き」

11月13日・・・・・・ピュアエンジェル「天使からの贈り物」

平成 24 年 1 月 8 日・4 人のピアニスト達

「新年を寿ぐ・・・華やかな 2 台のピアノ・4 手から 8 手まで」

<小ホールコンサート・シリーズ>

7月18日・・・・・・「橘茂のおしゃべりコンサート

8月13日・・・・・・ムジカ・リベラ・大阪

「モーツァルトの管楽合奏のための大作に挑む」

10月1日・・・・・・「にほんブログ村」

<シネマ de ラブリー・シリーズ(映画)>

4月18日・・・・・・ゴースト・もういちど抱きしめたい

5月16日・・・・・・ふたたび SWING ME AGAIN

6月28日・・・・・・武士の家計簿

7月22日・・・毎日かあさん
8月26日・・・英国王のスピーチ
10月12日・・・八日目の蝉
12月13日・・・最後の忠臣蔵
平成24年2月3日・・・うさぎドロップ
平成24年2月23日・・・日輪の遺産、を予定しています。

(6)アーティストの派遣を通じて芸術文化に触れる機会を創出する事業

【アウトリーチ事業】

アーティストを教育現場や福祉施設、地域コミュニティ等の身近な場所に派遣し、アーティストの持つ能力を活かしながら、気軽に芸術文化に触れる機会を提供する事業を実施します。

市役所内ロビーコンサートの開催

6月10日・・・「椿姫」出演者による市役所ロビーミニコンサート
7月28日・・・「オズの魔法使い」市役所ロビープレコンサート
9月23日・・・ECO FESTA 2011 ヘミュージカルスクールを派遣
未定・・・市立小学校「親と子の音楽会」へのアーティストの派遣
平成24年2月18日・・・公共ホール音楽活性化支援事業
「江崎浩司リコーダーコンサート・空飛ぶ笛」

(7)地域の芸術文化活動を多様な角度から支援する事業【芸術文化活動活性化支援事業】

地域の芸術文化活動を支援するため、地域文化団体との協働事業の実施、市民の企画に対する助成事業の実施、イベント開催のノウハウの提供、芸術系大学とのインターンシップ等、ソフト・ハード両面において多様な角度から事業を実施します。

河内長野市文化連盟をはじめとする各種文化団体との共催事業の実施

5月22日・・・東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート
9月25日・・・古典芸能鑑賞会「文楽」
11月12日・・・「内海由美子ハートフルコンサート vol.8」
11月23日・・・「アロージャズオーケストラ with 大西ユカリ」
平成24年3月11日・・・第16回緑の街ふれあいコンサート
平成24年3月20日・・・大阪芸術大学ヴィルトーゾウインドオーケストラ
ラプリーハロウィーン事業に係る地域ボランティア団体との協働
世界民族音楽祭企画運営委員会等の文化ボランティアの育成
市民による自主的な文化活動支援のための助成申請の受付

大阪芸術大学とのインターンシップ

「ラブリーニュース」及びホームページ・ブログによる文化情報の発信

河内長野市文化振興計画の推進

“河内長野ミュージックパークネット”への参加

2. 施設利用の促進

市民の自主的な芸術文化活動の場として、利用しやすい環境を整え、適切な施設利用のアドバイスや高齢者への支援などを実施し、より多く成果を得られるよう、文化会館の役割を果たしていきます。

(1) 利用者の声を生かす

お客様アンケートやご提案箱の設置などにより、お客様の生の声を聴き、施設運営に反映します。

(2) 安全で快適なホールをつくる

避難誘導訓練、消火訓練などを繰り返し実施し、利用者の安全を図ります。また、館内の施設案内表示や標識の改善を進め、初めて来館される方にも分かりやすく、安心して利用いただける環境を整えます。

(3) P R 活動の展開

「ラブリーニュース」やホームページ、施設利用案内パンフレットを活用した広報、計画的な訪問活動の実施等により、文化会館の活動を広く周知します。また、本年度からホームページ内にブログを立ち上げ、自主制作事業の練習風景、公演やギャラリー展示などを紹介し、多くの人に様々な芸術文化活動を伝えます。

(4) 施設の付加価値を高める

多様な芸術文化活動に対応できるよう、新規備品の充実につとめ、安心して利用いただけるよう老朽化した備品の更新を行います。

3. L・カード事業の推進

昨年度より大幅にリニューアルしたラブリーホール友の会「L・カード」を、より魅力ある友の会とするための調査研究・改善を進めると共に、さらなる会員数の拡大に努め、公演チケットの販売促進につなげます。

4. 受託事業

平成 24 年 1 月 9 日実施の「成人のつどい」事業を受託し実施します。舞台運営のノウハウを生かし、主催者の意図を実現するよう、新成人の祝祭と門出に相応しい舞台構成を提案します。

5 . 開館 20 周年記念事業の準備

平成 24 年 4 月 23 日にラブリーホールは開館 20 周年を迎えます。これまでご支援いただきまたご利用いただいた市民への感謝、新たな 20 年へ向けての抱負を念頭に新設の「ラブリーホール市民芸術文化活動助成金」の活用を図るとともに、お客様に喜んでいただける記念事業の準備を進めます。